

製品名	エポタフエース	【硬化剤】
火気厳禁 第4類第三石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ	  	【注意喚起語】 危険

製造者	株式会社日米商会		
担当部署	製造部		
所在地	東京都大田区東六郷3-9-12		
連絡先	【TEL】 03-3738-4410	【FAX】 03-3738-4478	【E-mail】 info@e-nichibei.com
緊急連絡先	【TEL】 03-3738-4410		

【危険有害性の要約】	
分類の名称	その他の有害性物質。
有害性	急性毒性(経口) 区分4 急性毒性(経皮) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分1 皮膚感作性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2
環境影響	情報なし
物理的・化学的危険性	引火性液体 区分外

【ラベル要素】	
危険有害性情報	飲み込むと有害/皮膚に接触すると有害/重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷/重篤な眼の損傷/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/臓器の障害のおそれ(全身毒性)
消防法	火気厳禁 危険等級Ⅲ 第三石油類 非水溶性液体
安全対策	「施工の手引き」をよく読み本製品の取り扱いについて作業者を事前に教育すること。 環境に放出しない様に注意して取り扱うこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 取扱中は、皮膚に触れない様に注意し、保護眼鏡(ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な保護具を着用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。
廃棄	内容物・容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

【応急措置】	
吸入した場合	負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
皮膚に付着した場合	すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹸水で洗う。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で5分以上洗い流す。 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。 眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
飲み込んだ場合	嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。 事故の場合または気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、MSDSを示す。 飲み込んだ場合は、水で口内を洗う(その人の意識がある場合のみ)。
応急措置者の保護	救急者は、保護具を着用する(曝露防止措置)。

【火災時の措置】	
消火剤	泡、二酸化炭素、粉末。
使ってはならない消火剤	棒状水
周辺火災の場合	移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。
着火した場合	火元(燃焼源)を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。
火災時の特定危険有害性	火災時には蒸気や分解ガス(一酸化炭素、窒素酸化物)が発生するので自給式呼吸器・保護手袋等を着用する。
消火を行う者の保護	火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

【漏出時の措置】	
人体に対する注意事項	関係法規に準拠して作業する。 緊急時措置：作業者は保護具(曝露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、風上で作業する。 屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。 漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。
除去方法	漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。 残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。 回収するときは、火花のでない器具を用いて回収する。
廃棄	回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。
二次災害防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除く。火気厳禁。 漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。 万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

【取扱い及び保管上の注意】 関係法規に準拠して作業する。	
技術的対策	加熱すると爆発の恐れがある。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 電気機器類は、防爆型(安全増型)のものを用いる。 換気の良い区域でのみ使用する。 取扱いは換気の良い場所で行う。 取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。 作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。 局所排気装置の設置された場所で作業する。 眼/顔面用の保護具を着用する。 適当な保護衣および眼/顔面用の保護具を着用する。 取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
注意事項	取扱いは換気の良い場所で行う。局所排気装置の設置された場所で作業する。
安全取扱い注意事項	知見なし
適切な保管条件	法規に従って、耐火構造、危険物施設に保管する。 容器を換気の良い場所で保管する。 消防法危険物1, 6類と混載してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 熱から離して保管する。 着火源から離して保管するー禁煙。 容器を密閉して保管する。
安全な容器・包装材料	鋼製ドラムおよび缶

【暴露防止及び保護措置】		
設備対策	密閉された装置、機器または局所排気装置を使用して取扱う。 取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。	
管理濃度	情報なし	
許容濃度	設定されていない。	
保護具	呼吸器用の保護具	本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。
	手の保護具	耐油性の保護手袋
	目の保護具	保護眼鏡(ゴーグル型)
	皮膚及び身体の保護具	帯電防止性能を有する長袖作業衣、ゴム長靴
適切な衛生対策	作業者に保護具の適正な装着方法等について教育訓練を行う。 保護具が共有の場合は使用後の洗浄の徹底等、衛生的に管理する。	

【物理的及び化学的性質】	
形状	液状
色	淡黄色～褐色
臭い	特異臭
PH	情報なし
沸点	データなし
融点	データなし
引火点	150℃ 以上(クリーブランド開放式)
発火点	データなし
爆発特性	データなし
溶解性	水に対する溶解性:溶けない。 トルエン・キシレン等の有機溶媒に対する溶解性:よく溶ける。

【安定性及び反応性】	
安定性	情報なし

【有害性情報】	
有害性情報	急性毒性(経口) :300<計算値(ATEmix)≤2000 急性毒性(経皮) :1000<計算値(ATEmix)≤2000 急性毒性(吸入:気体) :分類対象外 急性毒性(吸入:蒸気) :GHS区分を判断するための十分な情報なし 急性毒性(吸入:粉じん・ミスト) :GHS区分を判断するための十分な情報なし 皮膚腐食性・刺激性 :皮膚区分1の成分合計≥5% 眼に対する重篤な損傷・刺激性 :眼または皮膚区分1の成分合計≥3% 呼吸器感受性 :GHS区分を判断するための十分な情報なし 皮膚感受性 :1%以上の区分1または区分1B成分あり 生殖細胞変異原性 :GHS区分を判断するための十分な情報なし 発がん性 :GHS区分を判断するための十分な情報なし 生殖毒性 :GHS区分を判断するための十分な情報なし 特定標的臓器毒性, 単回ばく露 :1%以上10%未満の区分1成分あり または、10%以上の区分2成分あり 特定標的臓器毒性, 反復ばく露 :GHS区分を判断するための十分な情報なし 吸引性呼吸器有害性 :GHS区分を判断するための十分な情報なし

【環境影響情報】	
生体蓄積性	情報なし
残留性/分解性	情報なし

【廃棄上の注意】 この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。	
残余廃棄物	本製品は環境中に放出してはならない。 この製品は排水溝中に空けてはならない。
内部処理の場合	法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。 法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。 焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却炉の使用を推奨する。
外部委託処理の場合	産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託する。

【輸送上の注意】	消防法、船舶安全法、航空法の基準に従い積載・運送を行う。容器の転倒、落下、引きずる等の取扱いをしない。			
国際規制	情報なし			
国連分類	区分8 腐食性物質			
国連番号	2735			
品名(国連輸送名)	アミン類(液体)(腐食性のもの)アミン類又はホリアミン類(液体)(腐食性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)(ホリアミン)			
容器等級	II			
容器表示	火気厳禁 危険等級III	化学物質名	第三石油類 数量	非水溶性液体 品名
積載方法	運搬時の積み重ね高さ3m以下。			
混載禁止	消防法危険物 第一類、第六類および高压ガス。			
特定の安全対策	保護具、消火器を携帯する。 必要であれば、イエローカードを携帯する。			
及び条件	容器に漏れないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にを行う。			

【適用法令】				
消防法	法第2条第7項危険物別表 第4類 第3石油類(非水溶性)			
毒物及び劇物取締法	該当しない			
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9):該当しない			
船舶安全法	腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)			
航空法	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)			
大気汚染防止法	情報なし			
化学物質排出把握管理促進法	該当しない			
化審法	情報なし			

【組成・成分情報】	単一化学物質・混合物の区別 : 混合物			
化学名称または一般名	含有率	官報公示整理番号	CAS No.	国連分類・国連番号
変性脂肪族ポリアミン	75~85%			
変性芳香族ポリアミン	15~25%			

この情報は新しい知見及び試験等により改訂されることがあります。

本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。

すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

作成日:2010/9/1

改定:2024/01/26